

全日本1万局よみうりアワード 申請書作成ファイル

作成: JA0IAA 佐田 浩

ご利用上の注意

- Excel2007-2013でご使用下さい。
ファイル形式は97-2003形式(.xls)ですが、データ並び替え機能を活用するには2007以降の機能が必要です。
- 入門レベルで結構ですが、エクセルの知識が必要です。
- 以下の説明は、Excel2010を使用した場合です。
- プリントアウトには、A3対応のプリンタが必要です。
- 本ファイルは以下のシートで構成されています。

MANUAL	本操作説明および基本個人情報入力	プロテクトなし
INPUT	編集データを入力するシート	プロテクトなし
1-20、16F	提出シートおよび関連する補助シート	プロテクトあり、入力不可
PRE	JA-JSを除くプリフィックスの登録データ	プロテクトなし
NO	シートにあるデータNoの登録シート	プロテクトあり、編集不要
CAIN	編集データをシート毎に変換したデータ	プロテクトあり、編集不要

共通基本情報の入力

- シート毎の共通情報を入力
アワードの種類 ← ここに、アワードの種類(全日本/全世界)・名前・コールを入力
名前 ← 現時点は、全日本のみ対象としています。
コールサイン
申請クラス ← ここに、クラスを入力して下さい。
C賞 C
B賞 B
A賞 A
本賞 AWARD

ハムログからデータ抽出

- ハムログからコールサインのデータを抽出します。
ハムログのデータをCSV形式で出力します。複合検索・コールサイン順(重複無し)で出力して下さい。
出力場所は、自分の作業しやすいフォルダ・デスクトップで構いません。
*エクセル形式で出力しても構いませんが、すぐにはファイル保存されず画面表示のみになります。
後で保存して下さい。

CSVファイルを本ファイルに変換・貼り付け

- 1) CSVファイルをエクセルで開きます。
作業方法の説明は省きます。理解できない方は、エクセルの勉強をして下さい。
- 2) 全データが出力されるので、コールサインの列のみコピーし、本ファイルのシートINPUTにあるB2より下の列に貼り付けます。
(B1にコールサインとありますが、この下です)
1番目のコールサインがB2に、2番目のコールサインがB3に入ります。3番目以降、B4、B5・・・と入ります。A列は式が入力されています。消去したり、数字を直接入力しないで下さい。
* 誤ってA列を削除した場合、以下の数式を入力して下さい。
=ROW()-1
A2-A15001は、行番号から1を引いた数字が表示されます。

データは、最大15,000局まで貼り付け可能です。
あとで不要データを整理して1万局に絞り込みます。ここではデータを削除しないで下さい。
1万個以上のセルコピーは、最初は難しいと思います。数回に分けてコピーしてから貼り付けることを繰り返して下さい。
- 3) リストから除外したいデータを決めます。C列に採用するデータは0、除外するデータは1を入力します。*
数字は半角で入力して下さい。
ここでは、エリア別の最大局数を抑えたり、明らかに使いにくいコールサインを除外する程度にとどめておきます。後でQSLとの照合でデータを除外するので、大雑把に考えて下さい。
なお、JAで一般的なプリフィックス3文字でない局は、除外されることをおすすめします。
(サフィックスは1-4文字で正常に使えます。)
- 4) D列に、運用場所のエリア番号を入れます。1エリアは1、2エリアは2、・・・、0エリアは10です。*
JR0ZZZ/0は、0エリアの運用なので10です。
JK0ZZZ/1は、1エリアの運用なので1です。
これも半角数字で入力して下さい。
異なるエリアへの移動運用は除外したほうが楽・・・という方は、3)に戻って除外して下さい。

* 3)、4)で、同じデータを入力し続ける箇所が多々あります。オートフィル機能を活用して下さい。
「オートフィル」って何？という方は、検索してお調べ下さい。

必要データの並び替え

- 1) E列からH列は、並び替えに必要な以下のデータが自動的に入力されます。
通常は入力禁止なので、誤入力を避けるためにE-H列は非表示にしています。
必要であれば再表示可能ですが、これらの列には絶対にデータを入力しないで下さい。

(参考)

E列 移動・数字プリフィックスの検索情報

Jから始まる常置場所・同一エリアへの移動局:1

数字から始まる常置場所・同一エリアへの移動局:2

Jから始まる他エリアへの移動局:3

数字から始まる他エリアへの移動局:4

F列 プリフィックスのみ抽出 : 並び替えには使用しません

G列 プリフィックスのエリアのみ抽出

J*1は1、J*2は2、・・・、J*0は10と表示します。7K-7Nは1です。

その他数字で始まるプリフィックスは、シートPREに登録された情報から決定します
随時追加可能ですが、特殊なプリフィックスは除外したほうが良いでしょう。

H列 サフィックスの文字数

2文字は2、3文字は3です。

4文字は4、5文字は5・・・となります。

2) 並び替え(ソート)の機能を使い、並び替えを実行します。

A) 全セル選択ボタンをクリックし、全セルを選択

『全セル選択ボタン』とは、シートの行番号と列番号が交差する右図の矢印箇所です。列番号Aの左・行番号1の上です。
クリックするとシート全体の色が変わり、選択されます。



B) ホームタブの右端「並び替えとフィルター」→「ユーザー設定の並び替え」をクリック

下のような「並び替え」が表示されます。



C) 「先頭行をデータの見出しとして使用する」をクリック、チェックを追加

:1行目の見出しをソートしないために、必ずチェックマークを入れて下さい
すでに設定済みであれば、操作不要です。

D) ソートを実行

並び替え(ソート)を設定し、「OK」で実行します。すでに設定済みであれば、操作不要です。

:ソートの設定は以下の通りになっています 並び替えのキー:すべて値、 順序:すべて昇順

最優先されるキー	除外
次に優先されるキー	エリア
次に優先されるキー	移動 数字PREFIX
次に優先されるキー	PREFIX
次に優先されるキー	プリフィクス表示
次に優先されるキー	文字数
次に優先されるキー	コールサイン

3) 作業後データを確認します。

コールサインデータが順番に並んでいることを確認します。

コールは以下の順番に並んでいるはずです。

- 1) Jで始まる1エリア JA1、JE1、JF1、……JR1、JS1 同一エリアの移動は、コール順に並びます
- 2) 数字で始まる1エリア 7K1、7K2、7K3、7K4、7L1、7L2、……7L4、8J1、8N1
同一エリアの移動は、コール順に並びます
- 3) 他エリアの1エリア移動 JA2***/1、JE2***/1、……、JS2***/1、8J2***/1、JA3***/1、JE3***/1、
……、JS3***/1、8J3***/1、JA4***/1、……、JR0***/1、8J0***/1
- 4) Jで始まる2エリア JA2、JE2、JF2、……、JR2、JS2 同一エリアの移動はコール順に並びます
- 5) 数字で始まる2エリア 8J2、8N2
- 6) 他エリアの2エリア移動 JA1***/2、JE1***/2、……、JS1***/2、7K1***/2、7K2***/2、……
7N4***/2、8J2***/1、……、JA3***/1、……、JR0***/2、8J0***/1
- 7) 以下、3-0エリアまで繰り返し
- 8) 規定外のデータが最後に並びます 例: JA****/MM、JH****/P

正しくない場合は、C・D列の入力文字を確認して下さい。

4) 不要データの除外

データとQSLカードを照合し、使えないデータを除外します。

前述『CSVファイルを本ファイルに変換・貼り付け』3)で示したように、**C列の数字を採用する『0』から除外する『1』に書き換えます。**

3)で確認した規定外や不都合のあるデータは、修正が面倒であればここで修正して下さい。

全体をチェックし終わったら、ソートを実行します。

<注意>

不要データは、**行削除せずにC列の数字変更で実行して下さい。**

行削除しても問題ないように配慮してありますが、削除データは復活出来ません。

5) データの追加

ハムログのデータに無かったが、必要なコールが見つかった場合は、行の最後に追加します。
コールを入力、C列はデータを採用する『0』、D列はエリア番号を前述のルールで入力します。
すべて半角文字です。

入力後、ソートを実行します。

6) データの復活

前記3)で、除外したデータが必要になった場合、C列の数字を『1』から『0』に変更します。

7) データの修正

ハムログデータの誤り(コールサインの誤入力)があれば、修正します。

また、**複数QSOLした局の他エリア運用を利用したい場合は、コールサインとエリアを変更します。**

例: JA1XXX、JA1XXX/0のQSLを持っているが、データはJA1XXXである

JA1XXX/0のデータを利用したい (0エリアとして使いたい)

→ コールをJA1XXX/0に変更 エリアを1から10に変更

* この方法は、局数が足りないエリアで必要なことがあります。

8) データ数の調整

各エリア最少500局、最多1,500局の規定があります。

規定に合うように、不要なデータを上記4)と同じ要領でC列を「0」から「1」に変更します。

入力後、ソートを実行します。

後述しますが、10000局ぴったりではなく予備に50局が追加印刷出来る仕様になっています。

10050局で調整後、ソートすることがおすすりめです。

データの確認

- 1) シート1から順番にコールサインが表示されていることを確認します。1枚あたり625局です。1枚750局記載可能なのですが、規定では625局/枚と書かれています。勘違いにご注意を。また、シート1から16までで1万局ぴったりですが、**予備で50局のデータを追加することを推奨**します。この際、**シート16の代わりにシート16Fを利用して下さい**。プリントアウト後のチェックで無効データがあっても、コールを線で抹消すれば大丈夫と思います。シート17から20までは、オマケです。2,500局分のデータですが、除外したデータを復活させる際にプリントアウトしてデータを探すことがあれば、ご利用下さい。
- 2) シートのデータに文字欠けがないかチェックします。8文字以内の場合(例: JX1XXX/X)は問題ありませんが、9文字以上の場合(例: JXXXXX/JD1)は末尾の文字が欠けます。該当するセルを選び、フォントサイズを10から9に変更して下さい。シートには直接文字入力出来ないようにプロテクトをかけてありますが、文字サイズは変更可能です。フォントは、文字幅の狭いMSゴシックを採用しています。

プリントアウト

- シート1-16Fを印刷します。A3用紙をご用意下さい。念のため、印刷プレビューで仕上がりに問題がないか確認して下さい。余白はプリンタによって制約が異なります。調整をお願いします。(キヤノンのA3レーザーで評価しました) エクセルは、セル一杯に文字を入力すると、文字が一部欠けたり、計算結果が#####のように正しく表示されない場合があります。(プレビューでOKでも、印刷したら欠けることもあります) 文字数の多いコールサインは要注意です。

その他

- 数式が入力してあるシートに直接データを入力するトラブルを防止するため、入力不要なシートにはプロテクトをかけてあります。
パスワードを公開しますが、解除後は自己責任でご利用下さい。
パスワード: yomiuri
解除は、メニューの「校閲」から「シート保護の解除」をクリックします。パスワードを入力します。
再設定は、同じ「校閲」から「シートの保護」をクリックし、パスワードを2回入力します。
- このシートは、関数のみで編集しています。
独自の編集は、関数をご理解いただける方のみ自己責任でお願いします。
- バグレポートを歓迎します。
具体的な情報を添付した上、メールでお知らせ下さい。
メールアドレス以外に、コールサインとお名前をお願いします。
クイックレスポンスは保証しかねますが、時間を見て対処させていただきます。
- 連絡なしのネット上の二次配布はお断りします。
こんなもの、一部のマニアでしか使わないはずですが、この類のファイルで平易なものをパクリの人が結構いるんですね……。